

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月 8日更新

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	11	生涯スポーツの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	松本 明日美
	施策の柱	40	スポーツの啓発と参加機会の提供			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1508
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10773	根拠法令	スポーツ基本法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	サッカー・ヨガ・チアダンス・ボクシングエクササイズ・レクダンス等、乳幼児から高齢者まで幅広くスポーツ体験教室を実施し、スポーツを体験する場を提供。スポーツ体験教室は、市民のスポーツへの意欲を喚起し、スポーツ未実施者の掘起こしやきっかけ作り、スポーツの日常化を目的として開始された。 平成30年度は熊本地震後不活化している年齢層、高齢者や乳幼児とその母親層を対象とした教室を開催した。開催種目も参加者のニーズに沿ったものを用意し、老若男女問わず参加できるように工夫をしている。また、教室終了後に自主講座や総合型スポーツクラブの教室として立ち上がる教室も見られた。 このうち、協会がある種目については、平成25年度より体育協会の事業として開催している。 同様に、平成27年度からは総合型地域スポーツクラブの体験教室(トランポリン・産後ヨガ・バスケットボール等)についても、同時開催することで、教室の新規立上や新規加入者の促進、総合型地域スポーツクラブの広報啓発活動にも力を入れている。
【業務の流れ】	開催種目および講師選定→各講師と事業内容協議→施設利用申請→募集用冊子作成→申込受付→受講生決定および決定通知発送→開講式→受講料徴収・収納→教室運営状況確認→閉講式→報償費・委託料支払事務
【主な予算費目】	報償費、消耗品費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	・市民から感謝の言葉をいただくこともあるが、教室によっては、応募多数のため抽選となることがあり、抽選にもれた方からの苦情もある。また、1教室あたり10~20名程度の定員であるため、費用対効果の観点から運用の見直しも必要と考える。 ・体験教室は、短期間かつ限られた回数での開催となる為、教室をもっと続けたいとの要望も多い。継続することが大切であるため、希望される方に対して、体験教室の趣旨を踏まえ、自主講座開設への移行や総合型スポーツクラブクラブこうしへの入会をすすめている。 ・平成28~29年度は、特に熊本地震被災の影響もあり、利用可能な体育施設に限られていた。体験教室開催施設の予約においては、参加者の集まりやすい日時や場所を考慮した企画とすべきだが、その一方で現在活動されている団体や一般利用者の活動を阻害しない企画が求められている。 ・事業の趣旨と合致しない体験教室にのみ参加するベテラン参加者となる方もいらっしゃる。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
1年間を前後期に分け、全戸配布の区長便にて募集した。開催種目も参加者のニーズに沿ったものを用意し、老若男女問わず参加できるように工夫した。熊本地震後は、子どもや高齢者向けを中心に企画しており、また、スポーツだけの枠にとらわれず、目的に適合する文化的な内容も含めて教室を開催した。R1年度は、前期で総合型8講座、子ども協会1講座、市主催講座3講座の計12講座を実施した。後期は総合型11講座、子ども協会3講座、市主催講座2講座の計16講座を実施した。	平成30年度のウィーブル再開後の施設利用状況の改善を見込んでいたが、地域毎の施設利用は依然として高止まりしているため、開催教室数を制限予定。人気がある種目の実施や引き続きテーマ性を持たせた教室を企画することで、複数の種目や文化の要素も含めた体験教室を企画予定。体育協会加盟の種目協会主導の教室の活性化やスポーツをツールとした座学形式の教室も検討中。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 参加者数	人
イ: 開催教室数	教室
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) 人
	ア: 市民
	イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
様々なスポーツを体験する場を提供し、健康や交流の促進、新しい生活スタイルのきっかけ作りを行なう。	(単位) 人
	ア: 参加者数
	イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠	
市民一人、1スポーツを目指し、できるだけ多くの市民に参加してもらうため。目標値は前年度までの実績を踏まえ設定。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	571	546	600	389	630	630	630	630
	教室	38	36	35	28	35	35	35	35
② 対象指標	人	61,652	62,343	62,000	62,707	62,500	63,000	63,500	64,000
	イ:								
③ 成果指標	人	571	546	630	389	630	630	630	630
	イ:								
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	783	345	650	120	600	650	650
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	752	31	68	280	205	250	250
	(A) 事業費計	千円	1,535	376	718	400	805	900	900
	(A)のうち指定経費	千円	663	0	67	59	67	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	663	0	67	59	67	0	0
	正規職員従事人数	人	5	5	4	5	4	0	0
延べ業務時間	時間	395	395	120	440	120	0	0	
(B) 人件費計	千円	1,562	1,557	478	1,743	478	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,097	1,933	1,196	2,143	1,283	900	900	900

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 定期利用団体や一般利用者の活動の阻害とならないよう教室を企画したが、申し込みが開催可能人数に達せず、開催できない教室があり、教室数・参加者数ともに目標値に達しなかった。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市民が興味を示すような新企画の教室を導入することで、目標達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施設予約の課題は、既存利用団体への影響がないよう考慮する必要がある。また、費用対効果についても、募集方法や運営方法の変更で改善する余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 総合型地域スポーツクラブや、各種目協会との連携の拡大および健康づくり推進課との連携を図ることで、成果の向上が期待できる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在は、募集から運営等の全ての業務を市で行なっており、その枠組みの中で総合型スポーツクラブ「クラブこうし」が体験教室を行なっている。体育協会等の連携強化や総合型スポーツクラブの自立等の視点を踏まえ、ゆくゆくは全てのスポーツ体験教室を「クラブこうし」等への委託することで、事業費や人件費の削減を図ることを検討している。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在は、募集から運営等の全ての業務を市で行なっており、その枠組みの中で総合型スポーツクラブ「クラブこうし」が体験教室を行なっている。体育協会等の連携強化や総合型スポーツクラブの自立等の視点を踏まえ、ゆくゆくは全てのスポーツ体験教室を「クラブこうし」等への委託することで、事業費や人件費の削減を図ることを検討している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 参加者に2千円（中学生以下1千円）の負担をお願いしている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民がスポーツに親しむためのきっかけづくりの事業であるため、行政・体育協会等のスポーツ団体が連携して行うべきである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

体験教室終了後の自主教室の立上りや総合型クラブでの新規教室立上りだけでなく、体験教室で知り合った方同士での交流等、一定の成果を挙げている。教室開催には会場確保が必要だが、定期的に空いている会場が少ない現状がある。加えて、市の事業として優先的に予約してしまうと一般の利用者の活動を阻害してしまうため、一定の範囲で配慮が求められている。また、応募される方の現状として、低料金で受講が可能のため、同じ人が同じ教室に何度も応募するリピーターが増加している。加えて、教室間での応募人数の偏りが起こっている。多い教室では定員の2倍以上の申し込みがあり、抽選漏れとなる方も多い一方、定員を大幅に割り込み、開催できない教室もある。いかに魅力ある教室を一般利用を圧迫しない形で企画し、体験教室終了後も参加者の方に生活の一部として継続して運動してもらえるようにできるかが、今後の課題である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						